

中道リース株式会社

インパクト評価書

2024年10月29日

インパクト分析フロー

- 下記のフローで当社のインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析いたしました。

工程	内容
① バリューチェーン分析	事業を各工程で区切り、価値創造プロセスを整理することで、インパクト分析の下地を作ります。
② インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的なインパクトを22項目で確認します。
③ インパクトの特定	①、②、そしてヒアリング結果等からインパクトを特定し、SDGsとの関連性や社会的なニーズ等との整合を確認します。
④ 目標・KPI設定	特定したポジティブインパクトが増大、あるいはネガティブインパクトが抑制されるような目標とKPIを設定します。



インパクトカテゴリー	PI	NI	PI	NI	
1	水	0	0	0	0
2	食糧	0	0	0	0
3	住居	0	0	0	0
4	健康・衛生	0	0	0	0
5	教育	0	0	0	0
6	雇用	0	0	1	1
7	エネルギー	2	0	0	0
8	移動手段	0	0	0	0
9	情報	0	0	1	0
10	文化・伝統	0	2	0	0
11	人権と人の安全保障	0	0	0	0
12	正義	0	0	0	0
13	強固な制度・平和・安定	0	0	0	0
14	水（陸）	0	0	0	1
15	大気	2	0	0	1
16	土壌	0	0	0	2
17	生物多様性と生態系サービス	0	1	0	0
18	資源効率・安全性	0	1	0	2
19	気候	2	0	0	1
20	廃棄物	0	0	0	1
21	包括的で健全な経済	0	0	1	0
22	経済成長	2	0	0	0

インパクト	目標（業）	KPI（業）	関連するSDGs
気候、資源効率・安全性	・ 〇年度のGHG排出量（〇年度比）	・ GHG排出量削減率（〇年度比）	
資源効率・安全性	・ 産業廃棄物の発生量 ・ 化学物質排出原単位	・ 〇年度 ○ t ・ 〇年度 ○Nri/年/t	

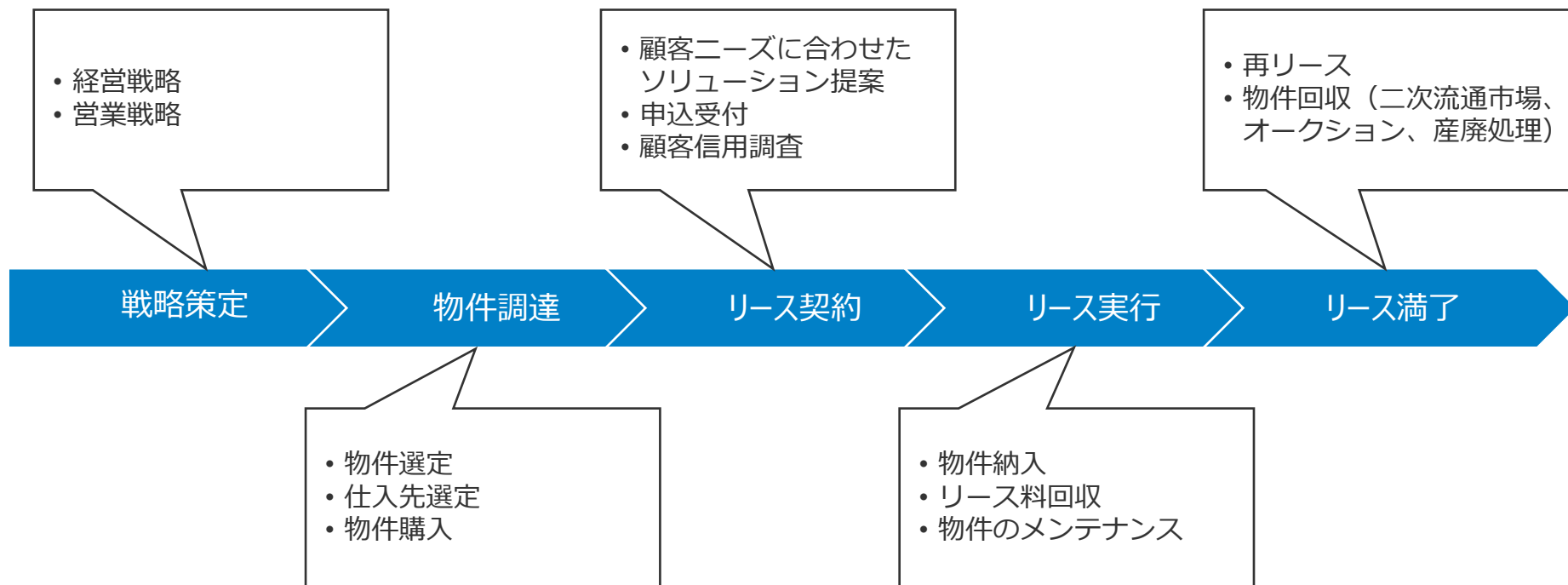
インパクト評価書
（当行HPにて公表）

- バリューチェーン（当社の事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ）について、公表資料ならびに当社へのインタビューから以下の通り事業を特定しました
- また、特定した事業分野は当社取扱物件のうち、主力である①輸送用機器のリース・割賦・営業貸付と②その他物件のリース・割賦・営業貸付に分類しました

セグメント：リース・割賦・営業貸付事業

⇒①輸送用機器のリース・割賦・営業貸付

⇒②その他物件のリース・割賦・営業貸付（主な取扱物件：サービス機器、産業機器、土木建設機器、医療機器、情報機器）



- ・ 特定した当社の事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

輸送用機器のリース・割賦・営業貸付 ⇒ ISIC : 7710 自動車賃貸・リース業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	1 交通安全
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
モビリティへのアクセスに貢献	1	⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	1 大気汚染の可能性
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
レンタルとリースによる余分な主材料使用量の削減	1	⑱	資源効率・安全性	⑱	
		⑲	気候	⑲	1 化石燃料を使用した場合のGHG排出量
		⑳	廃棄物	⑳	1 オフィスで発生する廃棄物
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI : ポジティブ・インパクト、NI : ネガティブ・インパクト、2 : 影響大、1 : 影響あり、空 : 影響なし

- ・ 特定した当社の事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

その他物件のリース・割賦・営業貸付（主な取扱物件：サービス機器、産業機器、土木建設機器、医療機器、情報機器）

⇒ ISIC：7730 その他の機械器具・有形財賃貸・リース業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
レンタルとリースによる余分な主材料使用量の削減	1	⑱	資源効率・安全性	⑱	
		⑲	気候	⑲	
		⑳	廃棄物	⑳	1 オフィスで発生する廃棄物
経済活動に貢献	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
手ごろな価格による経済収束への貢献	1	㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (一覧)

インパクトカテゴリー		リース・割賦・営業貸付				
		輸送用機器		その他		
		PI	NI	PI	NI	
入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（一連の固有の特徴がニーズを満たす程度）	①	水				
	②	食糧				
	③	住居				
	④	健康・衛生		1		
	⑤	教育				
	⑥	雇用	1	1	1	1
	⑦	エネルギー				
	⑧	移動手段	1			
	⑨	情報				
	⑩	文化・伝統				
	⑪	人格と人の安全保障				
	⑫	正義				
	⑬	強固な制度・平和・安定				
質（物理的・化学的構成・性質）の有効利用	⑭	水（質）				
	⑮	大気		1		
	⑯	土壌				
	⑰	生物多様性と生態系サービス				
	⑱	資源効率・安全性	1		1	
	⑲	気候		1		
	⑳	廃棄物		1		1
人と社会のための経済的価値創造	㉑	包摂的で健全な経済			1	
	㉒	経済収束			1	

(凡例) PI : ポジティブ・インパクト、NI : ネガティブ・インパクト、2 : 影響大、1 : 影響あり、空 : 影響なし

- インパクトマッピングの22項目のカテゴリとSDGsは、以下のように対応しています

		SDGs																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
インパクトカテゴリー																		
①	水						●											
②	食糧	●																
③	住居											●						
④	健康・衛生			●														
⑤	教育				●													
⑥	雇用								●									
⑦	エネルギー							●										
⑧	移動手段											●						
⑨	情報									●								
⑩	文化・伝統											●						
⑪	人格と人の安全保障										●							
⑫	正義																●	
⑬	強固な制度・平和・安定																●	
⑭	水（質）						●											
⑮	大気			●														
⑯	土壌																●	
⑰	生物多様性と生態系サービス														●	●		
⑱	資源効率・安全性							●					●					
⑲	気候													●				
⑳	廃棄物												●					
㉑	包摂的で健全な経済					●			●									
㉒	経済収束	●																●

出所：環境省「インパクトファイナンスの基本的考え方」より当行作成

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

輸送用機器のリース・割賦・営業貸付 (ISIC : 7710 自動車賃貸・リース業)

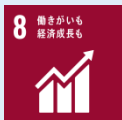
ポジティブインパクト



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに
• レンタルとリースによる余分な
主材料使用量の削減



12 つくる責任
つかう責任
• レンタルとリースによる余分な
主材料使用量の削減



8 働きがいの
経済成長も
• 生計の維持



11 住み続けられる
まちづくりを
• モビリティへのアクセスに貢献

ネガティブインパクト



3 すべての人に
健康と福祉を
• 交通安全
• 大気汚染の可能性



13 気候変動に
具体的な対策を
• 化石燃料を使用した場合のGHG
排出量



8 働きがいの
経済成長も
• 労働条件



12 つくる責任
つかう責任
• オフィスで発生する廃棄物

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

その他物件のリース・割賦・営業貸付 (主な取扱物件：サービス機器、産業機器、土木建設機器、医療機器、情報機器) (ISIC：7730 その他の機械器具・有形財賃貸・リース業)

ポジティブインパクト



• 手ごろな価格による経済収束への貢献



• 生計の維持
• 経済活動に貢献



• 経済活動に貢献



• レンタルとリースによる余分な主材料使用量の削減



• レンタルとリースによる余分な主材料使用量の削減



• 手ごろな価格による経済収束への貢献

ネガティブインパクト







• 労働条件



• オフィスで発生する廃棄物

- インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社が定めるマテリアリティならびにサステナビリティ基本方針等との整合性を踏まえ、目標・KPIを以下のように選択し、設定しました

インパクト	目標	KPI	関連するSDGs
資源効率・安全性 (PI)	<ul style="list-style-type: none"> 再リース移行率 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 再リース移行率 	 
気候 (NI)	<ul style="list-style-type: none"> 芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラム※1の適用契約社数 2024年度40社、次年度以降は前年度目標の10社増とすること 	<ul style="list-style-type: none"> 芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラムの適用契約社数 	
雇用 (PI, NI)	<ul style="list-style-type: none"> 休業取得者の復職率 100% 高ストレス率 10%以下 メタボ所見比率 10%以下 	<ul style="list-style-type: none"> 休業取得者の復職率 高ストレス率 メタボ所見比率 	

※1芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラム：「2050年までに温室効果ガス又は二酸化炭素の排出実質ゼロ」を目指すゼロカーボンシティ施策を後押しする目的で芙蓉リースグループが設立した寄付金付き優遇ファイナンスプログラム

(凡例) PI：ポジティブインパクトの拡大、NI：ネガティブインパクトの抑制



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況の評価し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。